

2024年3月期　第２四半期決算
決算説明資料

ニッタ株式会社
Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

連結損益計算書

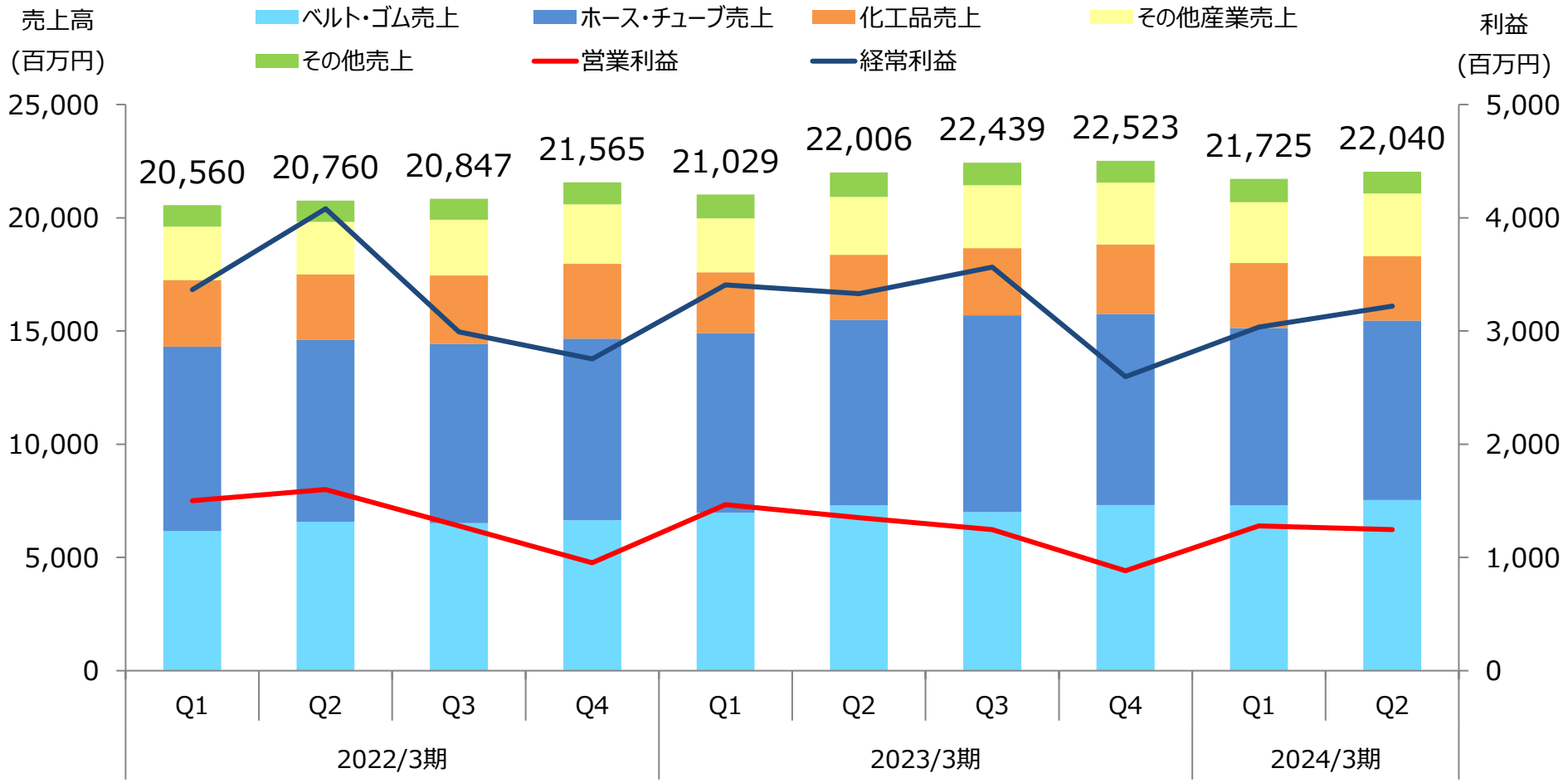
連結	2023/3期Q2 (百万円)	売上比(%)	2024/3期Q2 (百万円)	売上比(%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	**43,036**	100.0	**43,765**	100.0	728	1.7
売上総利益	**11,465**	26.6	**11,281**	25.8	△ 183	△ 1.6
営業利益	**2,860**	6.6	**2,526**	5.8	△ 334	△ 11.7
経常利益	**6,739**	15.7	**6,221**	14.2	△ 518	△ 7.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	**5,370**	12.5	**5,015**	11.5	△ 355	△ 6.6
設備投資額	**1,333**		**955**			
減価償却費	**1,552**		**1,629**			
研究開発費	**869**		**957**			

2024/3期Q2のポイント

売上高　：**増収**	Q1に引き続き自動車業界向けは回復傾向、一方で半導体業界向けは低調
営業利益：**減益**	原材料価格の高騰及び半導体業界向けなどの高付加価値製品の売上減少などが影響
経常利益：**減益**	営業利益及び為替差益が減少したことが影響

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

連結業績推移（四半期比較）



Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

セグメント別業績　（累計比較）

売上高	2023/3期Q2 (百万円)	2024/3期Q2 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
ベルト・ゴム	**14,280**	**14,851**	570	4.0
ホース・チューブ	**16,123**	**15,744**	△ 379	△ 2.4
化工品	**5,552**	**5,725**	172	3.1
その他産業用製品	**4,944**	**5,448**	503	10.2
その他	**2,135**	**1,995**	△ 139	△ 6.5
合計	**43,036**	**43,765**	728	1.7

営業利益	2023/3期Q2 (百万円)	2024/3期Q2 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
ベルト・ゴム	**1,838**	**1,666**	△ 172	△ 9.4
ホース・チューブ	**401**	**131**	△ 269	△ 67.2
化工品	**84**	**238**	153	182.0
その他産業用製品	**67**	**208**	140	209.1
その他	**1,213**	**1,087**	△ 126	△ 10.4
全社/連結調整	△ 745	△ 805	△ 59	–
合計	**2,860**	**2,526**	△ 334	△ 11.7

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

セグメント別四半期業績比較　ベルト・ゴム製品事業

SHIFT 2030

売上高(Q2累計)

14,280百万円
2023/3期Q2

+4.0%

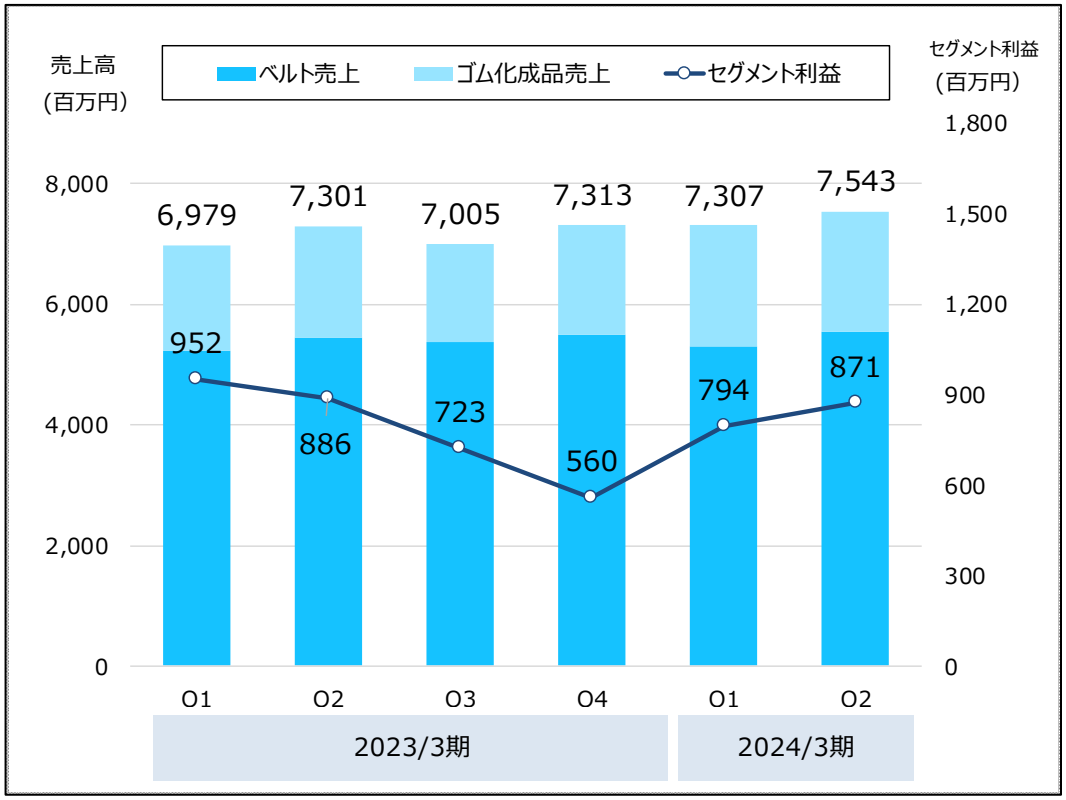
14,851百万円
2024/3期Q2

セグメント利益(Q2累計)

1,838百万円
2023/3期Q2

△9.4%

1,666百万円
2024/3期Q2



ベルト製品

・物流業界向けは国内堅調、海外低調

・紙工業界向け堅調

ゴム化成品

・電子部品業界向け低調

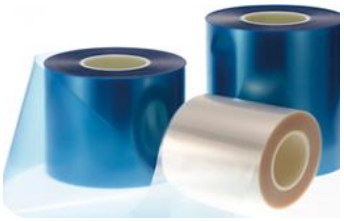
・リネン業界向けRFID製品好調



ベルト製品
・物流業界
・繊維業界
・紙工印刷業界
・半導体業界　等



ゴム化成品
・土木・橋梁業界
・工作機械 等



ゴム化成品(デバイス)
・電子部品業界
・リネン業界

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

Invention & Innovation NITTA

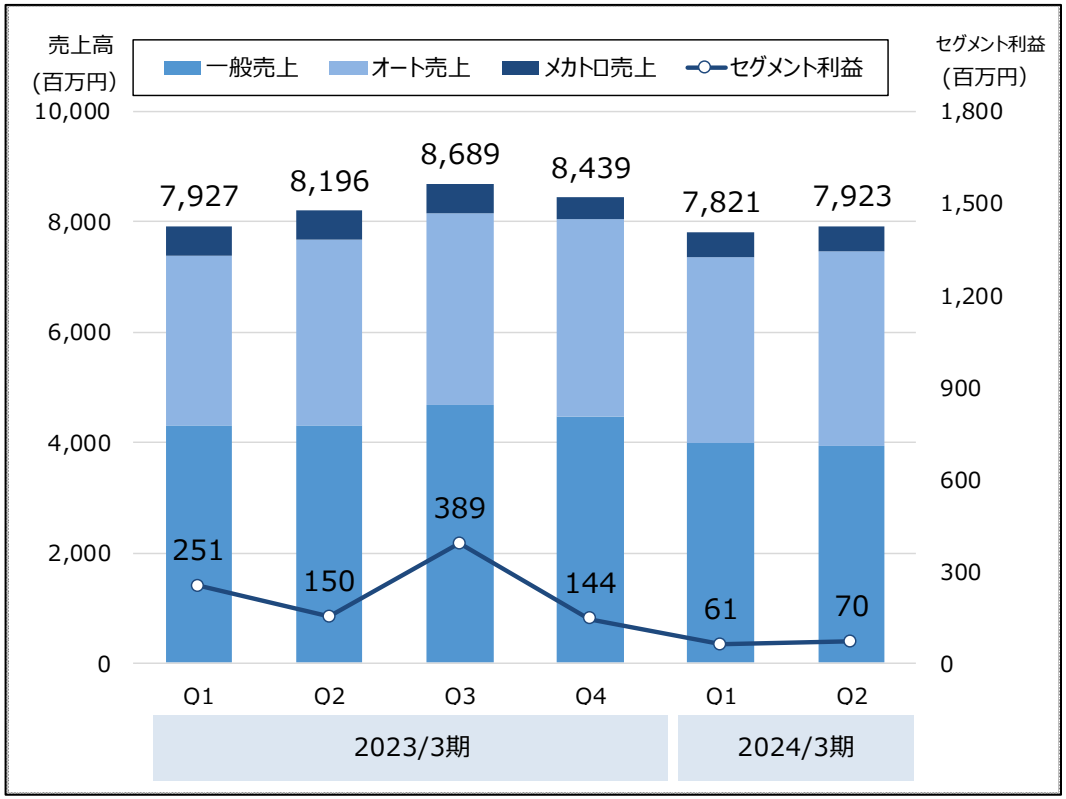
セグメント別四半期業績比較　ホース・チューブ製品事業

売上高(Q2累計)

16,123百万円 2023/3期Q2　△2.4%　**15,744**百万円 2024/3期Q2

セグメント利益(Q2累計)

401百万円 2023/3期Q2　△67.2%　**131**百万円 2024/3期Q2



一般産業向け

・半導体製造装置向け低調

・建設機械向けが中国を除き堅調

オート向け

・半導体不足解消に伴い回復傾向

メカトロ製品

・中国のEV車製造ライン向け低調



一般産業向け
ホース・チューブ
・半導体製造装置
・建設機械
・工作機械　等



オート向け
ホース・チューブ
・自動車業界
・トラック・バス　等



メカトロ製品
・自動車業界

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

セグメント別四半期業績比較　化工品事業

売上高(Q2累計)

5,552百万円
2023/3期Q2

+3.1%

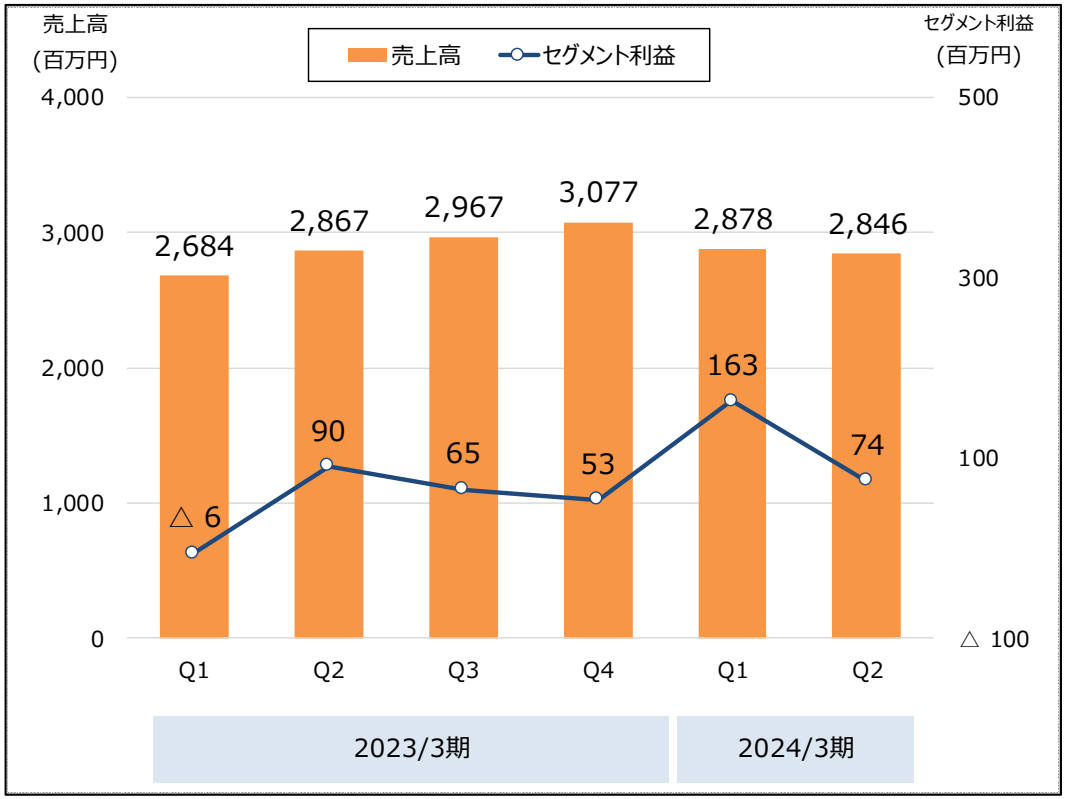
5,725百万円
2024/3期Q2

セグメント利益(Q2累計)

84百万円
2023/3期Q2

+182.0%

238百万円
2024/3期Q2



ゴム製品

・鉄道業界は国内堅調

・海外は受注が翌期にずれ込み

エラストマー製品

・OA機器向けやや回復



ゴム製品
(鉄道部品等)
・鉄道業界　等



遮水製品
・土木業界
・建設業界　等



エラストマー製品
・ＯＡ機器向け

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

セグメント別四半期業績比較　その他産業用製品事業

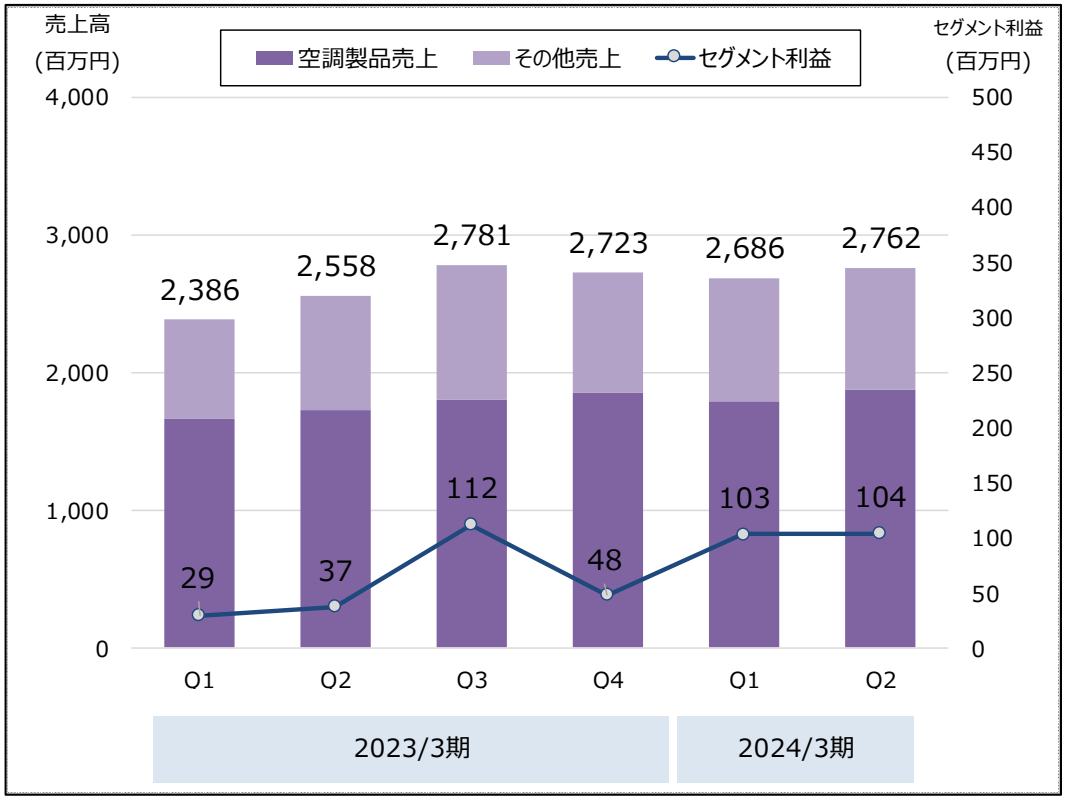
SHIFT 2030

売上高(Q2累計)

4,944百万円　2023/3期Q2　＋**10.2**%　**5,448**百万円　2024/3期Q2

セグメント利益(Q2累計)

67百万円　2023/3期Q2　＋**209.1**%　**208**百万円　2024/3期Q2



空調製品

・半導体・電子部品・製薬業界向け
　フィルタ製品及び測定器が堅調

・除染製品・サービスが堅調



空調製品
(フィルタ製品)
・半導体業界
・製薬業界
・病院　等



空調製品
(測定器)
・半導体業界
・電子部品業界
・製薬業界　等



その他
（血液循環回路）
・医療向け

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

Invention & Innovation NITTA

セグメント別四半期業績比較　その他事業

売上高(Q2累計)

2,135百万円
2023/3期Q2

△6.5%

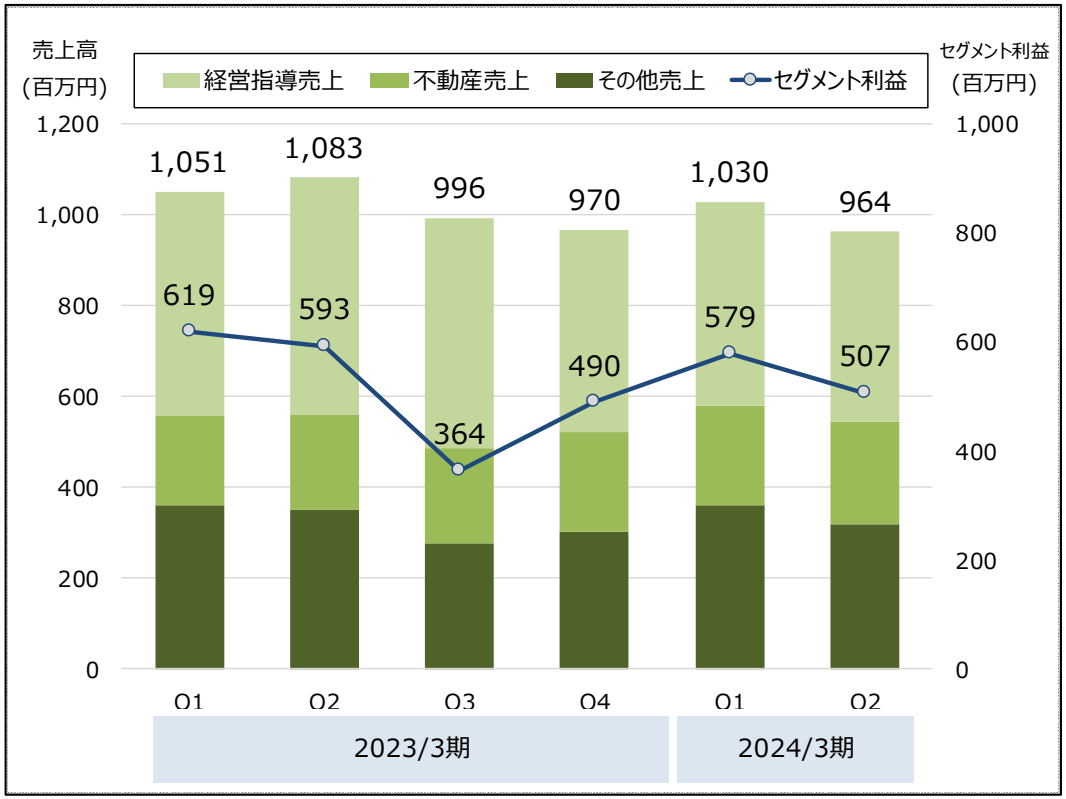
1,995百万円
2024/3期Q2

セグメント利益(Q2累計)

1,213百万円
2023/3期Q2

△10.4%

1,087百万円
2024/3期Q2



経営指導

・対象事業の業績減速により減収

不動産事業

・ほぼ横ばい



不動産事業
・賃貸管理



その他
（森林経営）



その他
（自動車教習事業）

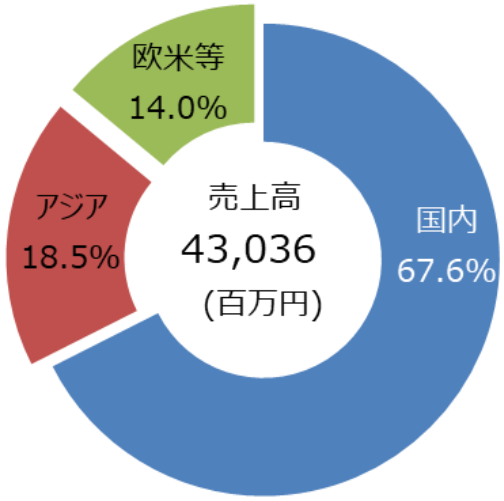
Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

海外売上高比率の推移

中国、欧米が低調であった半面、国内が堅調に推移し海外売上高比率が減少

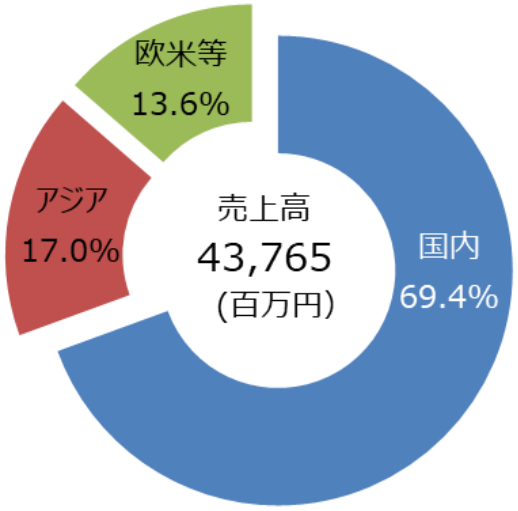
2023/3期Q2

海外売上高比率 **32.4%**



2024/3期Q2

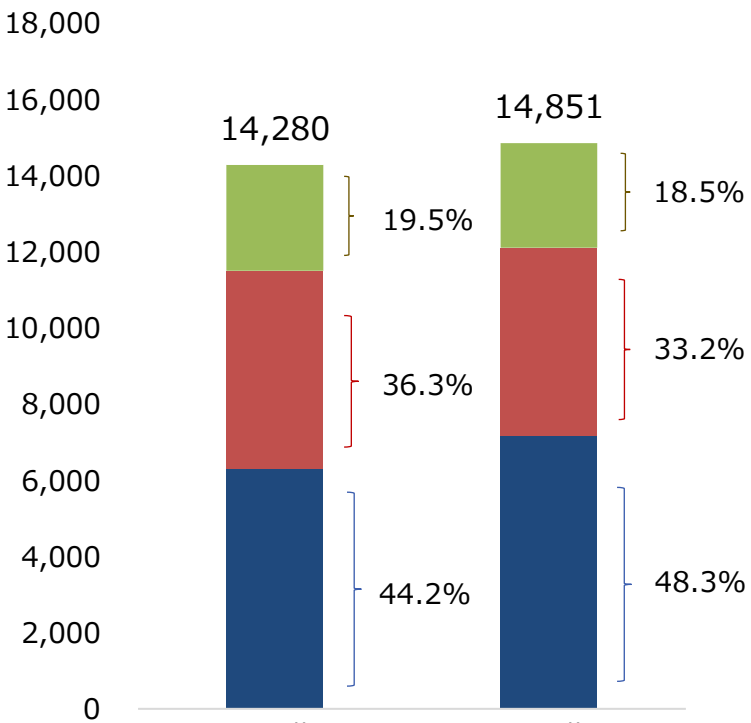
海外売上高比率 **30.6%**



Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

地域別売上概況　ベルト・ゴム製品事業

（百万円）



売上高	2023/3期Q2	2024/3期Q2
	14,280	14,851
アジア	2,781	2,742
欧米	5,188	4,929
国内	6,310	7,179

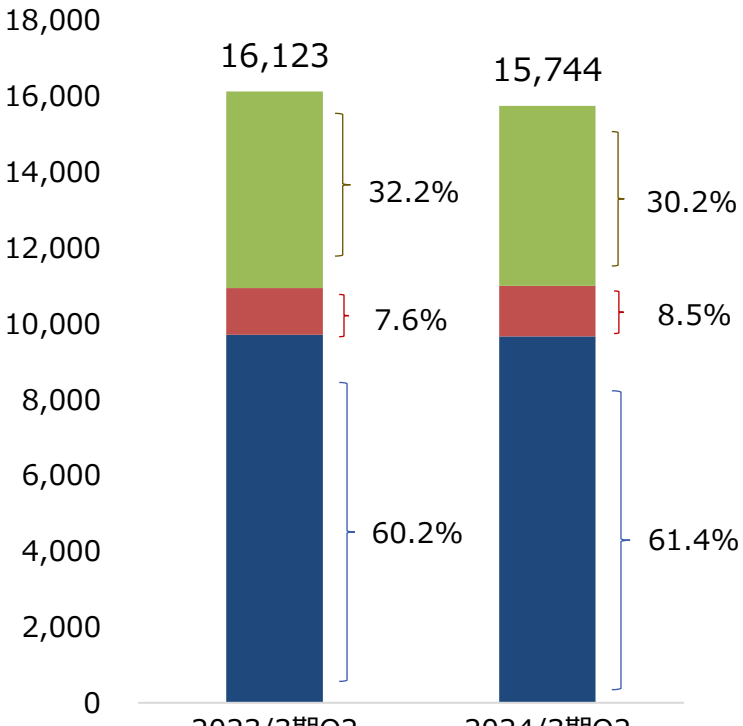
アジア（△1.4%）	・(中国）物流・繊維・半導体業界向けベルト製品：低調
欧米（△5.0 %）	・(北米)物流業界向けベルト製品：低調 ・(欧州)金融・郵便機器向けベルト製品：堅調
国内（＋13.8%）	・物流業界ベルト製品：堅調 ・電子部品製造向け感温性粘着テープ：低調 ・リネン業界向けRFID製品：好調

カッコの数値は前年同期比増減率

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

地域別売上概況　ホース・チューブ製品事業

（百万円）



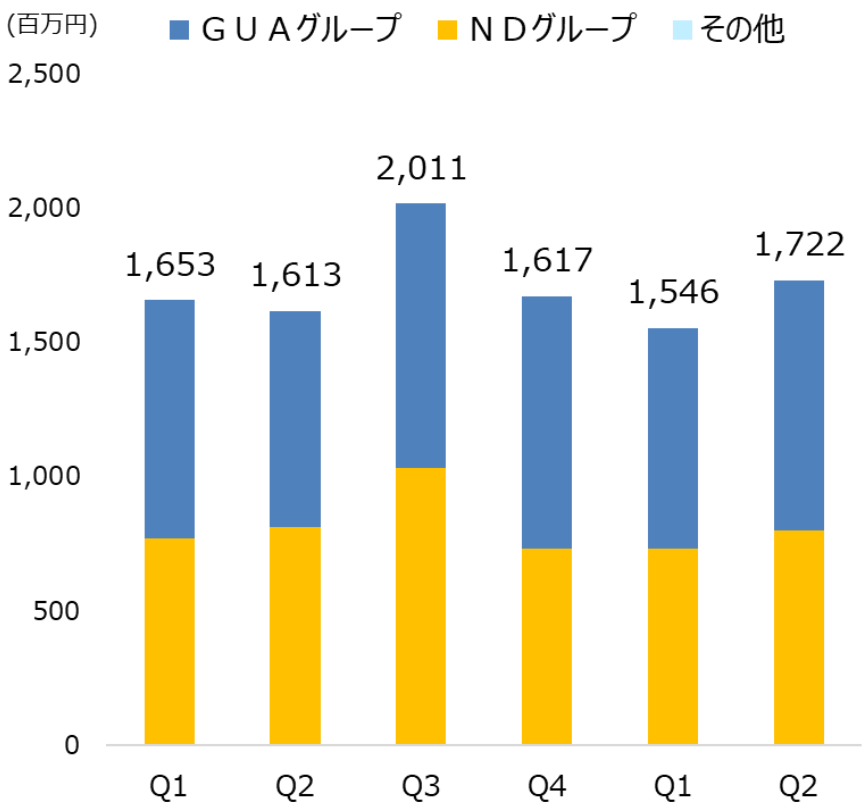
	2023/3期Q2	2024/3期Q2
売上高	16,123	15,744
アジア	5,189	4,749
欧米	1,232	1,331
国内	9,701	9,664

アジア（△8.5%）	・(中国)自動車・建設機械向け製品：低調 自動車(EV)製造ライン向けメカトロ製品：低調 ・(韓国)建設機械向けホース製品：堅調
欧米（+8.0%）	・(北米)自動車向けチューブ製品：回復基調
国内（△0.4%）	・自動車向けチューブ製品：堅調 ・建設機械向けホース製品：堅調 ・半導体製造装置向けチューブ製品：低調

カッコの数値は前年同期比増減率

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

持分法投資利益の推移



	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
	2023/3期				2024/3期	
ＧＵＡグループ	887	803	983	940	821	930
ＮＤグループ	770	813	1,033	731	733	801
その他	△ 5	△ 3	△ 6	△ 54	△ 8	△ 9
累計期間	1,653	3,266	5,277	6,894	1,546	3,268



ＧＵＡグループ

一般産業向けﾀｲﾐﾝｸﾞﾍﾞﾙﾄ、ﾌﾟｰﾘ
（半導体製造装置、ﾛﾎﾞｯﾄ、工作機械等）
自動車向けﾀｲﾐﾝｸﾞﾍﾞﾙﾄ、ﾃﾝｼｮﾅｰ

・自動車業界向けは回復傾向
・一般産業向けは、
　日本の半導体業界向けで減速傾向

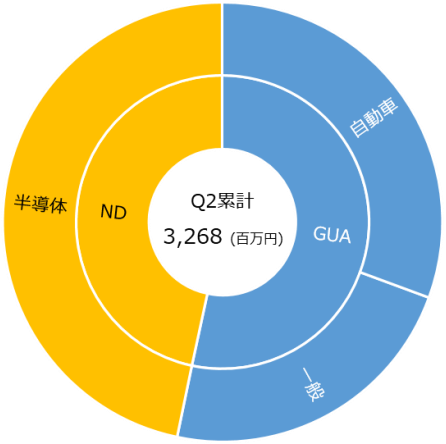


ＮＤグループ

半導体業界向け研磨ﾊﾟｯﾄﾞ、ｽﾗﾘｰ

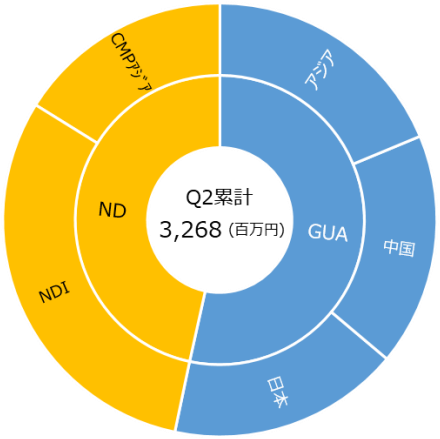
・メモリの減産や在庫調整の影響を受け減速

業界別割合



※GUAの業界別割合は売上高をベースに
持分法投資利益を分割しています。

地域別割合



※地域別割合は持分法適用会社の所在国
等により区分した持分法投資利益の割合を
表しています。

ニッタ株式会社

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

今期業績予想

５月12日に公表した業績予想から変更無し

連結	2023/3期実績(百万円)			2024/3期予想(百万円)			増減額(百万円)	増減率(%)
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想		
売上高	43,036	44,963	**88,000**	43,765	45,235	**89,000**	1,000	1.1
営業利益	2,860	2,129	**4,989**	2,526	2,474	**5,000**	11	0.2
経常利益	6,739	6,161	**12,900**	6,221	5,779	**12,000**	△ 900	△ 7.0
親会社株主に帰属する当期純利益	5,370	5,482	**10,853**	5,015	4,985	**10,000**	△ 853	△ 7.9
設備投資額		4,068			**5,000**			
減価償却費		3,149			**3,200**			
研究開発費		1,825			**2,000**			

期末配当予想については、11月2日に開示の「株主還元方針の変更及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」の通り、1株当たり10円増配し65円に修正いたしました。中間配当と合わせ、年間配当予想は1株当たり120円となります。

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について



SHIFT 2030
SHIFT INNOVATOR
cored around manufacturing

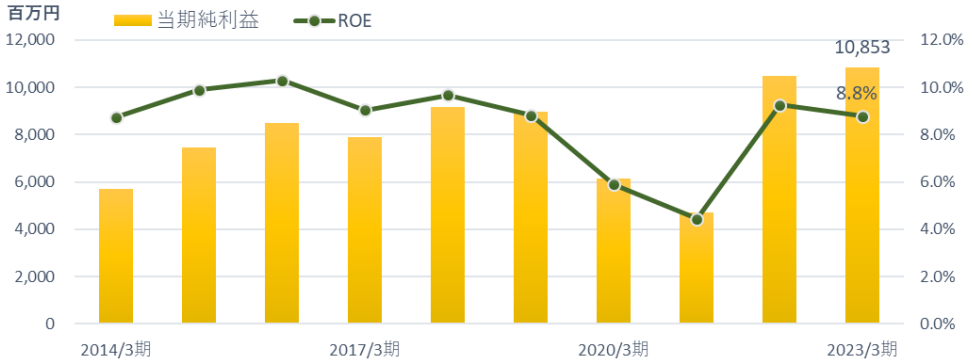
現状分析

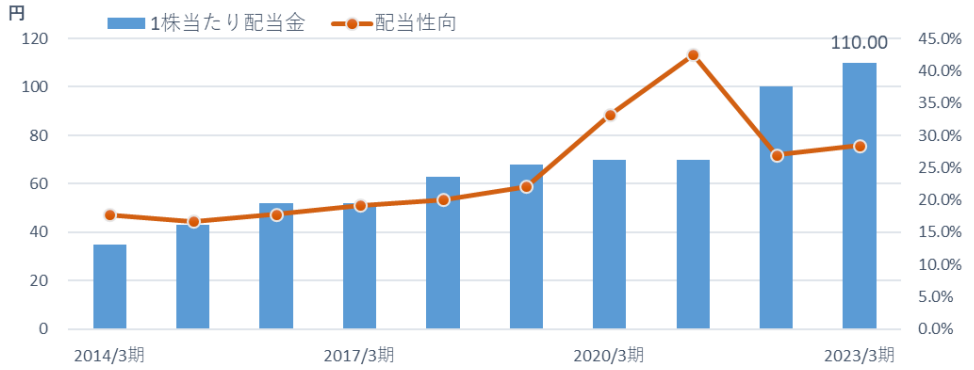
- 当社の業績は順調に推移しており、2023年3月期の当期純利益は過去最高を達成
- 当社ROEは8.8%（2023年３月期）と、当社が認識している資本コストを上回る水準
- 過去最高益や、ROEの水準に関わらずPBRが１倍を下回っている要因は、市場からの成長性（PER）に対する評価の低さが考えられる（PBR＝ROE×PER）

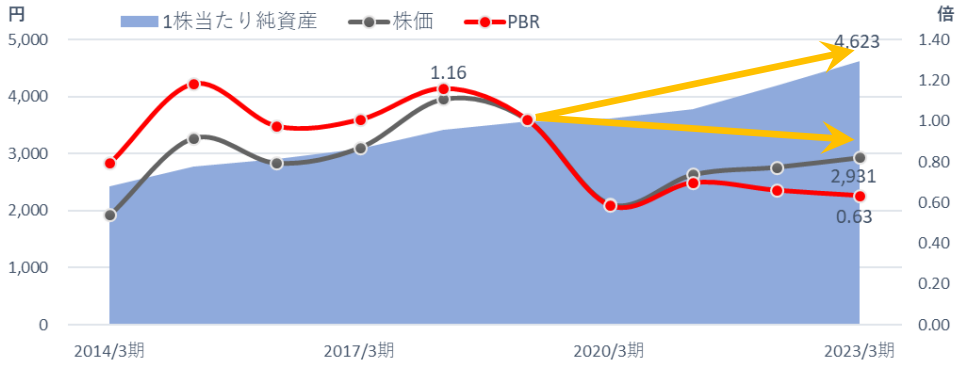
成長戦略の着実な実行

- 当社は１株当たり配当金を持続的に増配してきており、2023年3月期の１株当たり配当金は過去最高の110円
- 一方で、１株当たり純資産の増加傾向と、株価の動向に乖離が生じている。これまで以上に資本効率と株主還元を重視した経営が必要

資本効率、株主還元の強化







ニッタ株式会社

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

資本コストや株価を意識した経営の実現

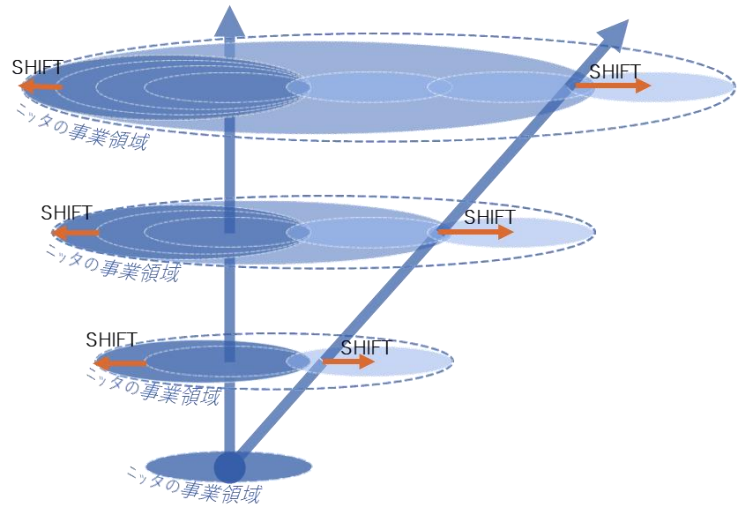
ニッタグループは『SHIFT2030』に掲げた成長戦略の着実な実行と、
資本効率・株主還元を重視した経営により、企業価値最大化を図ります。

企業価値最大化

成 長 戦 略
ものづくりを核としたシフトイノベーター

深化型SHIFT
（既存事業の強化）
(Improvement)

探索型SHIFT
（新規事業の模索）
(Innovation)



＋

資 本 効 率

- ＲＯＩＣ経営の推進
- 事業、製品ポートフォリオの最適化による資源配分
- 政策保有株式の縮減

＋

株 主 還 元
（2024年3月期 ～ 2028年3月期）

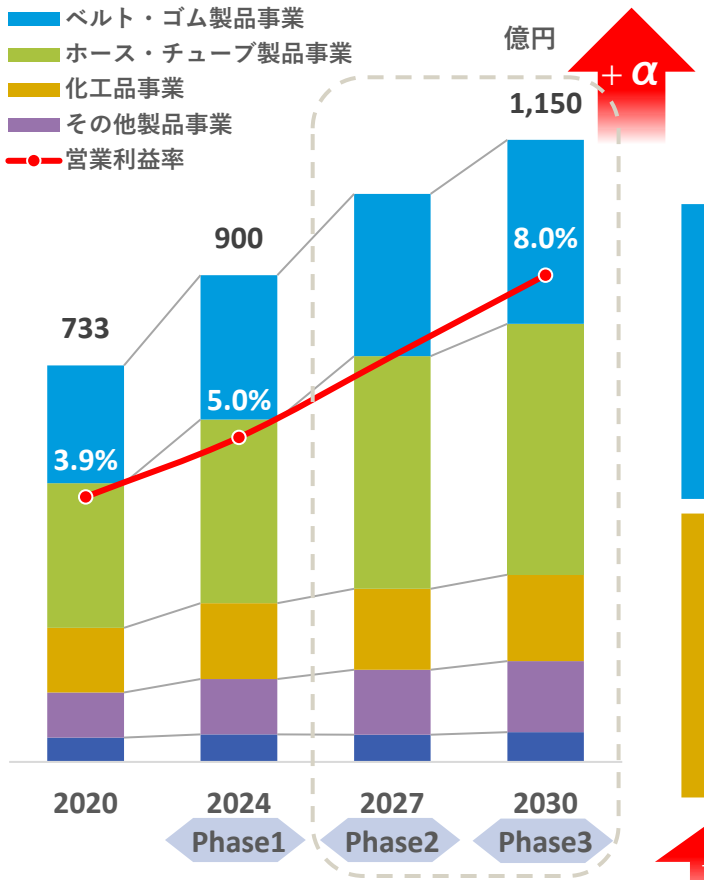
- 毎年着実な増配（10円以上の増配）
- 配当性向30%以上、DOE2.5%以上
- 機動的な自社株買いの実施

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

『SHIFT2030』成長戦略

SHIFT 2030

SHIFT2030 売上高・営業利益率



Phase2以降の計画を見直し
更なる成長を目指す

ものづくりを核としたシフトイノベーター
営業利益率８％以上を目指す＋ROIC経営推進
事業・製品ポートフォリオの最適化、資源配分

深化型SHIFT（既存事業の強化）
(Improvement)

ベルト・ゴム製品

- 成長市場向け製品群へリソース集中
  - ①「高機能」搬送用樹脂ベルト（NLG™）
    ➡多様化する食品搬送市場への拡販
  - ②「高性能」ポリスプリント™
    ➡高性能搬送要求が続く物流市場の深耕
  - ③「多機能」インテリマー™
    ➡高度化する電子部品・半導体製造工程の深耕
- 環境配慮型新製品開発の積極推進

ホース・チューブ製品

- 成長市場への積極投資
  ニッチ市場でのグローバルNo.1を目指す
  - ➡ 半導体製造装置向け製品の拡大
  - ➡ EV、FCV向け製品
  （グローバル拡販と高機能高性能化）
- 積極的なアライアンスによるスピードアップ

化工品

- 鉄道車両部品の強化
  - ➡成長する欧州、インド、アジア市場での売上拡大
  - ➡国内市場(民鉄他)向けのシェア拡大
- 低収益製品からの撤退･資源再配分

その他製品

- クリーン環境成長市場へ積極推進
  - ➡半導体、製薬市場への空調製品拡販
  - ➡SDGsに対応する環境製品の販売拡大
- 除染サービスでライフサイエンス分野への販売推進
- 海外成長市場への計画的事業推進

探索型SHIFT（新規事業の模索）
(Innovation)

+α

新事業 新製品

■Namd™（ｶｰﾎﾞﾝﾅﾉﾁｭｰﾌﾞ技術）
スポーツ関連
一般産業向けに拡大

■再生医療分野
■その他

■ロボット分野

ニッタ株式会社

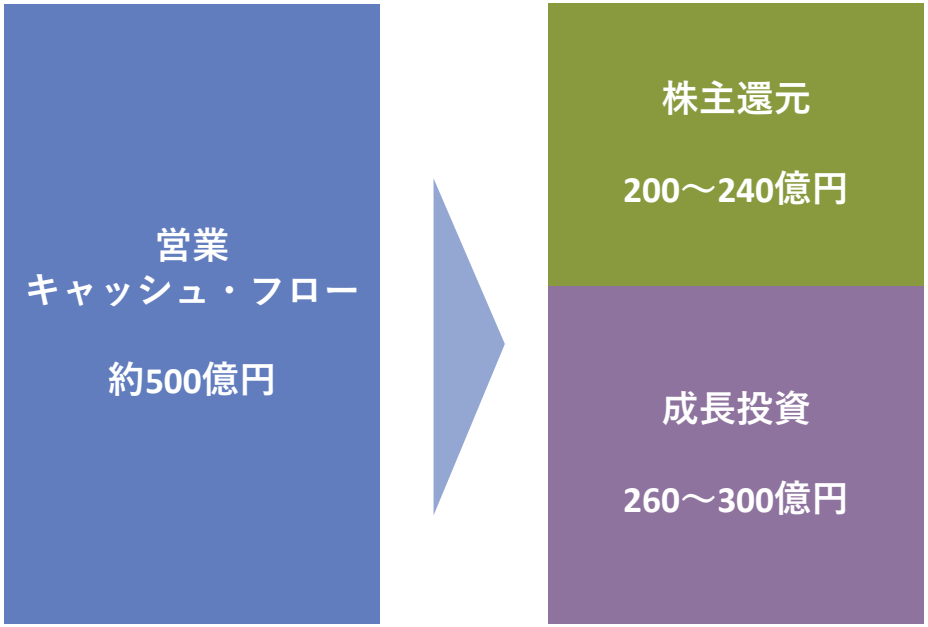
Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

Invention & Innovation NITTA

キャッシュ・アロケーション

- 最適な成長投資と株主還元を実現することで企業価値の向上を目指す
- 探索型SHIFTの推進を加速し、積極的な投資機会を発掘、成長投資を実施
- 配当方針を見直し、株主還元を強化する
- 政策保有株式の縮減を図る（純資産に対し時価で８％未満に縮減）

当年度 ～ Phase2終了までの５年間
（2024年3月期 ～ 2028年3月期）



- 株主配当、毎年増配
- 自社株買い

- 探索型SHIFT（新規事業投資）
- 深化型SHIFT（既存事業投資）
- 戦略投資（M＆A等）

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

株主還元方針

当社では、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして位置づけ、企業体質の強化・充実を図りつつ、業績に応じた適正な利益配分を行うことを「基本方針」としております。

中長期経営計画『SHIFT2030』のフェーズ 1（2022 年 3 月期～2025 年 3 月期）の期間においては、この基本方針を維持しつつ、連結配当性向 30％を目安に、安定的かつ着実な配当を継続的に実施することとしておりましたが、株主還元に対する当社方針を株主の皆様により分かりやすく示すため、積極的な自社株買いも含め、株主還元方針を次の通りとします。

	現行 (2022年3月期～2025年3月期)	変更後 (2024年3月期～2028年3月期)
配当方針	連結配当性向 30%を目安に **安定的**かつ**着実な配当**を **継続的**に実施	
株主還元方針	過去数年に渡り自社株買いを 実施しているが、 株主還元の方針としては 組み込んでいない	**着実な増配**： 毎年10円以上の増配 **安定的**：配当性向30％以上 DOE 2.5%以上 **継続的**：2024年3月期～ SHIFT2030 Phase2 株主還元の一環として 機動的な自社株買い 必要以上保有の自己株式は 積極的に消却

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

株主との対話の状況

当社では、株主・投資家との建設的な対話を促進するために、当社の体制、取り組みに関する方針として「建設的な対話に関する方針」を定めています。株主との建設的な対話を通じて得られた意見等については取締役会ならびに経営陣に対して適切にフィードバックし、持続的な企業価値向上への取り組みに活用しています。
今後も株主・投資家との対話を継続し、決算説明会の内容充実、英文開示などの取り組みを進め、ＩＲ活動の強化に努めます。

■株主・投資家との対話実績(2022年度)

株主との対話	活動状況(役職は対応当時)	実績
機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会	代表取締役社長や代表取締役専務執行役員が出席する決算説明会を2回開催（第2四半期、年度末）	2回
機関投資家・証券アナリストとの個別対話	経営管理グループが中心となり、個別に対話を実施 代表取締役や社外取締役が出席した場合やESGテーマの場合も含む	48回
国内機関投資家		(34回)
海外機関投資家		(9回)
証券会社等		(5回)
問い合わせ対応	経営管理グループにて電話やHPからの問い合わせに対応	随時

■経営陣へのフィードバック(2022年度)

経営陣へのフィードバック	活動状況(役職は対応当時)	実績
取締役会にて機関投資家等との対話内容報告	四半期ごとに取締役会へ投資家情報及び対話内容・投資家からの要望を報告し、改善対応策について協議	4回
経営会議にて保有動向報告	株主構成や機関投資家等の株式保有動向に合わせ、今後の施策を報告	3回
その他報告(株主・投資家関連)	株主・投資家からの要望指摘は必要に応じて代表取締役に適時報告	適時

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

SHIFT 2030
SHIFT INNOVATOR
cored around manufacturing

THANK YOU

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<IR問合せ先：経営管理グループ　06-6563-1217>

ニッタ株式会社
Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.

Invention & Innovation
NITTA